

# 「株式会社サーフ・エンジニアリング」取材レポート

経営学部 西村優希 (所属:田中ゼミ)

工学部 中島竜也 (所属:山崎研究室)

## ◎ はじめに 100年先の日本国中の安心・安全を目指す

株式会社サーフ・エンジニアリング様(以下サーフ・エンジニアリング)はインフラ工事に伴う特殊機械及び治具などの設計・製造・販売を行う会社です。配管、水道管、橋、ワイヤーなどのパイプラインの点検を低コストで実現し、日常生活に起こりうる想定外な事故や不確実性を限りなく少なくしています。何気なく過ごしている私たちの生活はサーフ・エンジニアリングに支えられていると言っても過言ではありません。サーフ・エンジニアリングは現状を把握し目標を明確にしています。その上で課題と対策を明確にしていました。課題とは、恒久保全・迅速な災害復旧・社会インフラです。このたびは社長の根本さんにお話を伺いました。

## ◎ 会社の主力製品・技術を教えてください。「インフラ点検ロボ」・「エンジニアリング集団」

主力製品は「インフラ点検ロボ～のぼるくん～」(以下、点検ロボ)です。点検ロボは新規性と独創性に優れています。シンプルロボットと題されるように、点検ロボ自体シンプルな構造になっています。その無駄の少なさは安価・短時間・酷所からの作業員の解放を実現させました。通常、設置・検査・解体などで三日かかる作業を三時間でやってのけた実績があるほど、点検ロボは「時間」、「金」、「人手」を削減し低コストでの作業を実現できるのです。また従業員は専門的な知識と確かな腕を兼ね備えています。この革新的な点検ロボは今後活躍の場を広げていくでしょう。

## ◎ 主力製品のおもな売り先を教えてください。 日本の安心・安全

主力製品である点検ロボは主にインフラ保守市場で活躍します。例を挙げるとガス業界・電力業界・上下水業界・建設業界・プラント業界などです。これら市場が求めるのは高精度検査・低コスト検査・スピーディー検査・安全性・確実性です。サーフ・エンジニアリングの強みにはガス事業者とのつながり力があり、現状、サーフ・エンジニアリングは東京ガスパイプラインの約 11%の点検を任されています。震災など、予期せぬことは突然に起こります。安心で安全な日本を形成するためには点検すべきところを挙げればきりがありません。日本の基盤を強固なものにするという意味でも、点検ロボの市場規模は今後も伸び続け、2020年には現在の6倍になる見通しです。さらに、点検ロボにおいて競業他社と異なる点は、転用が可能であることです。転用可能なことも踏まえると市場規模は将来的に爆発的に大きくなるといえます。

## ◎ この展示会でアピールしたいものを教えてください。 将来性・可能性

社長の根本さんは技術力を見てほしいと仰っていました。言葉通り、目の前で丁寧に点検ロボの動きについて説明してくださいました。その技術とはパイプのカーブの部分(エルボ部分)を進む際に必要とする仕組みの事です。法則を利用したローラーのまわし方は特別であり、あらゆる形に適応します。

◎ 会社における展示会の位置づけについて教えてください。 自らの足跡の再確認の場

社長の根本さんは展示会を感謝の場として捉えているように話していました。自社の製品や現状を知っていただける展示会に参加することは、数々の困難を乗り越え元気に仕事をしている姿を、お世話になった人や事業に携わる方々に発信することに感じ取ることもできました。

◎ 展示会で成果を出すために取組まれていることを教えてください。 自社を知ってほしい

サーフ・エンジニアリングの方々は自社が構えるブースに目立つ工夫をしていました。その目立ち方は他の企業のブースとは明らかに異なっていました。点検ロボが中央に構え、壁には賞状が飾られ、自社の製品説明のポスターは大々的に飾られていました。来場者の目に留まることは大変貴重なことと言えます。なぜなら、すべてのブースをまわりきることは相当な体力と集中力を要するからです。小さな空間を最大限に利用していることは一目瞭然でした。

◎ 展示会での成果(受注事例、効果、メリット)などを教えてください。 将来の自分を作る

展示会に参加することは多少なりともビジネスチャンスにつながります。展示会を機に自社の良さを PR できる場が波及効果のように広がっています。サーフ・エンジニアリングは新聞やメディアなどに出演し、自社の事業や製品の素晴らしさを発信しています。また「かながわビジネスオーデション 2015」では最優秀賞を受賞しました。これは、これからの神奈川県経済・社会を担う創造的・革新的なベンチャー企業などの発掘・育成を目的とするものです。最終審査では、ビジネスプランを審査委員や見学者の前で発表します。発表会場の隣には、商談スペースを設けられ、ビジネスパートナーやスポンサーとの交流の場が設けられています。このような場で評価されたことは、サーフ・エンジニアリングの今後に多大なる影響をもたらし、持続可能な事業へと成長・発展に結び付くでしょう。

◎ インタビューを終えて

今回、インタビューに対応していただいた根本さんには、懇切丁寧に質問に答えて頂きました。一番に感じたのは根本さんの力強さです。インタビュー中とても熱いものを感じました。サーフ・エンジニアリングの魅力を知ってほしい思いよりも、将来を担う若者たちに向けたメッセージを多く残していただきました。根本さんは、現代の学生はやりたいことをやり、革新を起こすべきだと仰っていました。私たち学生は、やればやっただけ評価される今だからこそ、がむしゃらに前進することが必要なのかもしれません。お忙しい中お時間をいただきありがとうございました。

◎ 会社概要

会社名	株式会社サーフ・エンジニアリング
HP	<a href="http://surfeng.co.jp">http://surfeng.co.jp</a>
社長ブログ	<a href="http://surfeng.co.jp/blog1">http://surfeng.co.jp/blog1</a>
所在地	神奈川県綾瀬市吉岡東 3-10-3
電話	0467-79-6506
FAX	0467-39-6623